

# 2024JWPキックオフ ミーティング

2024年2月9日  
ジャパンウールプロジェクト協議会  
〒541-0051 大阪府大阪市中央区備後町2-5-8  
綿業会館4階 日本羊毛産業協会内

6年目になりますジャパンウールプロジェクト(JWP)。2024年春のキックオフはJWPに関わってくださる日本の羊飼いと、日本の繊維ファッション関係者が、直接触れ合う交流会として開催いたします。興味を持ってくださる方ならどなたの参加も歓迎します。羊のいる暮らし、日本の畜産の「物づくりの流れ」をいっしょにつくっていきましょう！

■日程：2024年4月20日（土）11：00～16：00

■場所：(株)アレフ えこりん村  
〒061-1421 北海道恵庭市牧場277-4（園内MAP添付）

■スケジュール：

10：30受付開始 場所：えこりん村銀河庭園駐車場（MAP①）に集合

11：00毛刈りとスカーティングのデモンストレーション（厩舎）

移動（徒歩2～3分）

12：00～ 自己紹介

12：30～ 乾杯&お食事（バイキング）、場所：森のレストランTen-man（MAP②）

移動（徒歩5～6分、車2～3分）

14：00～ 基調トーク（スライドレクチャー各20分）場所：ココワッカ（MAP③）

「飼養衛生管理基準」北海道家畜保健衛生所 大庭千早

「一宮の水」森保染色株式会社 早川典雄

「バイオくん—堆肥処理機について」株式会社竹内商店 竹内伸吾（交渉中）

15：00～16：00 フリートーク 歓談

■参加費：

参加費は一人1000円。3/26（火）までにお振込みください。\*但しご欠席でも返金しません

振込先：三菱UFJ銀行瓦町支店（店番号：003）

ジャパンウールプロジェクトキョウギカイ 普通 0232143

食事代は一人3200円税込（バイキング。飲み物込み。当日レストランにて各自お支払いください）

※注意：会場は生産牧場です、防疫上許可のないところへの立ち入りは禁止。撮影写真の広報使用およびドローン撮影はできません。歩きやすい靴でお越しください。レクチャーの内容は予告なく変わることがあります。

お問い合わせ先 本出ますみ  
sheep@spinhouse-ponta.jp 075-462-5966

## 2024JWPキックオフミーティング申込書

2024年4月20日(土)えこりん村(恵庭市)にて開催の交流会に参加希望の方は、  
3月26日(火)までに、下記URL、QRコードから申込をしてください。  
<https://forms.gle/rGnNEyiM454URNRy9>



★会社名、牧場名(法人名)	
参加者名 (代表者に*印をつけてください。 当日受付で名札をお渡しします。参加者の名称をご記入ください。)	
★住所(代表者) 〒	
★メールアドレス(代表者)	
★電話番号(代表者、日中に連絡のつく番号)	
★参加費は一人1000円(基調トークのレジメ代)です。 3/26(火)までに下記にお振込みください。但し欠席の場合もご返金しません。 振込先：三菱UFJ銀行瓦町支店(店番号：003) ジャパンウールプロジェクトキョウギカイ 普通 0232143	
★食事代は別途一人3200円(飲み物税込み)です。当日レストランにてお支払いください。	

<問い合わせ先>  
ジャパンウールプロジェクト(JWP)協議会  
交流会受付担当: 本出ますみ  
電話: 075-462-5966  
FAX番号: 075-461-2450  
メール: sheep@spinhouse-ponta.jp



# バス時刻表

2024年 4月20日～10月31日まで

ご乗車の際は、  
コロナウィルス感染症対策



大声での会話



車内でのご飲食

ご協力ください。

## 〈恵庭駅発～えこりん村行き〉

JR恵庭駅 西口発	約10分	花のまきば	約2分	銀河庭園着
時	平日	土・日・祝		
7	30	30		
8	30	30		
9	00 30	00	30	
10	00 30	00	30	
11	30	00	30	
12	30	00	30	
13	30	00	30	
14	30	00	30	
15	30	00	30	

## 〈銀河庭園発～恵庭駅行き〉

銀河庭園発	約2分	花のまきば	約10分	JR恵庭駅 西口着
時	平日	土・日・祝		
10		45		
11	15	15		
12	15	15	45	
13	15	15	45	
14	15	15	45	
15	15	15	45	
16	15	15		
17	15 50	15	50	
18	20	20		

※天候・交通状況により多少時間が遅れる事があります。ご了承下さい。

えこりん村ウェルカムセンター 9:30～17:00

花のまきば 9:30～17:00

らくだ軒 10:00～18:00(ラストオーダー17:00)

とまとの森 10:00～16:00

《4/27～ OPEN》

銀河庭園 & みどりの牧場 9:30～17:00

森のレストランTen-Man 10:00～16:00(ラストオーダー15:00)

《お問い合わせ先》 えこりん村サポートセンター(9:30～17:00)

Tel:0123-34-7800

# 西エリア West Area

# 東エリア East Area



4/20 (土)  
集合時間  
10:00 までに①

① お車は、こちらにお止め下さい。

えこりん村

東庭市街・恵庭IC・36号線  
恵庭岳公園線

情報は正確に、行動は冷静に。



\*注 Paper Felt……紙で漉いたときに水分を吸収させるために使う抄紙用の織フェルト。

BSEや口蹄疫について、正確な知識を入れ、それを分析・判断し、冷静に行動すること。それをできる力を磨くこと。情報源を確保しておくこと。これは私たちの毎日の生活全般に繋がることだと思います。

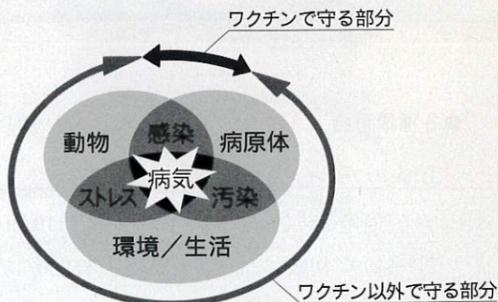
——手始めにテレビと雑誌を捨ててみよう!——

感染症対策の三つの輪

と。向かう側迎える側も、「羊とあなたの健康を守るために」人間のカラダはアブナイと考えて行動すべきです。

感染症は、環境管理(ヒト)の場合は、衛生・栄養・運動・休養など生活状況、動物(ヒト)、病原体、の3つのバランスが崩れて、病気となつて姿を現します。そして、発病の早期発見早期治療を怠れば、重症化し他への感染源となります。

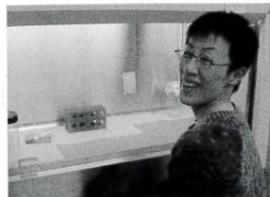
結核菌は「伝染力は中程度〜弱い」



「病原体」「動物(ヒト)」「環境」この3つの輪の重なるところで病気が発生する。

のですが、「濃厚な同居学校・職場・病院・他過密な集合」で、ヒトが「過労・栄養不足・それらからおきる免疫状態の低下」があれば、発病します。そしてそれを放置すれば「全身性の結核」で本人は治療困難となり、周囲への感染源となります。

インフルエンザの流行に、マスクや消毒薬だけを強調するのは、「病原体」のこと以外に眼を背けるようにしている日本の社会情勢にあるのかもしれない。過重労働やリストラなどで疲労が抜けなかつたり精神的に参っていること。子供が発病すれば親が仕事を休むしかなく収入が激減すること。社会的経済的弱者あ



澤口さん作のセーターを着る大庭さん

るいは知識の不足による衛生・栄養・医療の「貧困」。などなどヒトと生活状況にも配慮しなければ、どんな感染症でも防圧は不可能であるし、逆にこれらの対策を取れば、ほとんどの感染症は乗り越えることができると思います。



1日1農場 厳守。  
 どうしても複数農場訪問の場合、専用の靴(もしくは靴カバー)、帽子、長袖、靴を農場の数だけ持参する。



家畜保健所では靴底の消毒にはとても気を使っています。入り口では殺菌消毒剤を踏んで入り、使った長靴はすぐに水洗いし、現地で消毒後持ち帰り、再度洗浄・乾燥しておきます。

家畜保健所では靴底の消毒にはとても気を使っています。入り口では殺菌消毒剤を踏んで入り、使った長靴はすぐに水洗いし、現地で消毒後持ち帰り、再度洗浄・乾燥しておきます。

家畜は展示を目的としている牧場以外では、人間の管理下で集団生活し、自らの生命維持以上にどんな出産、肉・乳・毛などを「生産」しています。——野良羊・野生化した羊がいけないように、特に羊は人が飼わなければ生きていけません——限度いっぱい集団にとつて一番コワイのは外から来る病気。群れに病気を運ぶのは、新しく飼いだした羊、買ったきた餌や敷料(床に敷く草やおがくずなど)や道具、運搬のための車、野生の生物。そして最も困った運び屋は「人間」です。人間の行動範囲は広く、いろいろなものに触れ、それを制限できない。

そこで! 羊生産農場へ出かける人の「お作法の基本」は、一日一農場だけの訪問、農場で履き替える靴をビニール袋入で持参。——自家用車で出かける人は、農場に踏み入れた靴でアクセルペダルなど踏んではいけません——自宅に戻ったら服は洗濯、ビニール袋から取り出した靴は、特に靴底の溝を風呂場でこしこし洗って乾燥しておきます。迎える側は立入禁止の場所を、きちんと伝えること。履き替え用の靴や靴用ビニールカバーを用意しておくこ



着用後の帽子・服・靴・靴は、必ず洗濯してから、次の農場に使うこと。連続着用不可。(靴カバーは農場毎に交換する)

羊に会うための「お作法」  
 アタタが病原体を運ばないための「お作法」  
 文・イラスト 大庭千早

羊農場へ出かけるときの「お作法」

家畜は展示を目的としている牧場以外では、人間の管理下で集団生活し、自らの生命維持以上にどんな出産、肉・乳・毛などを「生産」しています。——野良羊・野生化した羊がいけないように、特に羊は人が飼わなければ生きていけません——限度いっぱい集団にとつて一番コワイのは外から来る病気。群れに病気を運ぶのは、新しく飼いだした羊、買ったきた餌や敷料(床に敷く草やおがくずなど)や道具、運搬のための車、野生の生物。そして最も困った運び屋は「人間」です。人間の行動範囲は広く、いろいろなものに触れ、それを制限できない。

そこで! 羊生産農場へ出かける人の「お作法の基本」は、一日一農場だけの訪問、農場で履き替える靴をビニール袋入で持参。——自家用車で出かける人は、農場に踏み入れた靴でアクセルペダルなど踏んではいけません——自宅に戻ったら服は洗濯、ビニール袋から取り出した靴は、特に靴底の溝を風呂場でこしこし洗って乾燥しておきます。迎える側は立入禁止の場所を、きちんと伝えること。履き替え用の靴や靴用ビニールカバーを用意しておくこ